



徳成寺 寺比かわら版 第215号 2024年11月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

戦国武将・武田信玄の言葉に「一生懸命だと、知恵が出る

中途半端だと、愚痴が出る いい加減だと、言い訳が出る」と。

戦国時代から何百年経っても、現代にも通じるいい言葉ですね。

愚痴や言い訳を否定的にも受けとめられるのですが、肯定的に

受けとめてみるのはいかがでしょうか。愚痴が出そうになったら、

あるいは出てしまったら、知恵が出るまでもうちょっと一生懸命に

やってみようとか。言い訳が頭の中をよぎったら、もしかして瞬間的に

口をついて出てしまったら、「言い訳が現れたぞ、知恵の出る前触れだ。もう

少し粘ってみよう。」心の中で自問自答するのはいかがでしょうか。愚痴や言い訳

の中にお宝が隠れているかもしれません。愚痴や言い訳が質的に転換した時に、初めて

知恵が育まれるのではないのでしょうか。戦国武将も自分に言い聞かせたみたいです。

発行責任者
住職
大山健児
坊守
大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。先月、中学校の同窓会に招待を頂いたので参加して来ました。本当は30歳の節目の年に開催したかったと言う事でしたが、コロナ禍の為に断念し、仕切り直して32歳の年に開催されたようです。参加者はなんと50人を超えていたと言う事で、幹事の人徳を感じながら楽しく過ごしました。話を聞いていると、地元にいる同級生よりも県外に出ている子が多く、大阪や島根、果ては北海道から来ている同級生もいました。男の子の同級生は面影があったので何となくわかったのですが、女の子はみんな美しくなり、本当に答え合わせが大変でした。うちの娘もやがて大きくなるとこんな感じになるのかなあと、何となく重ねて見てしまいました。写真は中学校は勿論、保育所から一緒だった同級生との写真です。成人式以来なので12年ぶりにあえて良かったです。

